

日曜日礼拝順序

憩いの場

2018年6月24日 午前11時 南部チャペル

“愛の対象”

前奏		鈴木義兄
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
交読文	40	イザヤ書55章
賛美歌	2	“いざやともに こえうちあげて”
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		荒井久和子姉
		申命記10章17-19節
賛美歌	344	“とらえたまえ わが身を”
説教	“神の愛と寄留者”	Scroggins 由紀牧師
賛美歌	529	“ああうれし わが身も”
献金		下竹祐三郎兄
報告		
頌栄	541	
祝祷		Scroggins 由紀牧師
後奏		鈴木義兄
(礼拝終了:奉仕開始)		

“兄弟だけにあいさつしたからとて、なんのすぐれた事をしているだろうか。そのようなことは異邦人でもしているではないか。”(マタイによる福音書5章47節)

先日、ある女性がブログで自身の人生観を語られているのを読みました。彼女は非常にはっきりした尺度を持っていて、たとえば、親しい人に対しては、本気で心配するそうですが、親しくなくなると、その人のことは心配しなくなるそうです。彼女にとって個人的に感じている親しさが、相手への気遣いに直結しているらしく、面識はないのですが、こういう考え方をする人もいるのか、と、とても参考になりました。彼女のような考え方は、コミュニティという概念が希薄な現代の日本を象徴しているのかもしれない。すなわち、自分が親しみを感じていない相手は、気遣いの対象にならない、大事なものは自分の仲間だけ、という考え方です。

しかし、個人的な親しさがすべてに先行する場合、多様な人々がいるコミュニティにおいては弊害をもたらす、分裂を引き起こす可能性もあります。聖書の中で、主イエスは、親しみを感じる相手だけに向けられる愛に対して、大きなチャレンジを投げかけられています。

あなた方が、自分を愛する者を愛したからとて、なんの報いがあるだろうか、兄弟だけにあいさつしたからとて、なんのすぐれた事をしているだろうか。このように主イエスは言われて、神の愛の本質とは、人間的な親しさとは別のものであることを教えられました。私たちは出会う人すべてと親しくなるのは不可能です。しかし、自分と全く違う考え方、生き方の人と共存することはできます。特に教会において、個人的な親しさを超えた神の愛を信徒が示すとき、そのコミュニティは、闇の中にある光のように輝くことができるのではないのでしょうか。ご聖霊のお力により、私たちが導かれますようにお祈りします。(Scroggins 由紀)

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

記事: 消息

—陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、Chieko Dano 姉、下竹寛子姉、英語部の Kate Whitmore 姉、Ron Barlow 兄、Donna Barlow 姉、カレン語部の Pastor Roger など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

—5月27日の礼拝には、不破真兄が出席されました。Welcome!

お知らせ

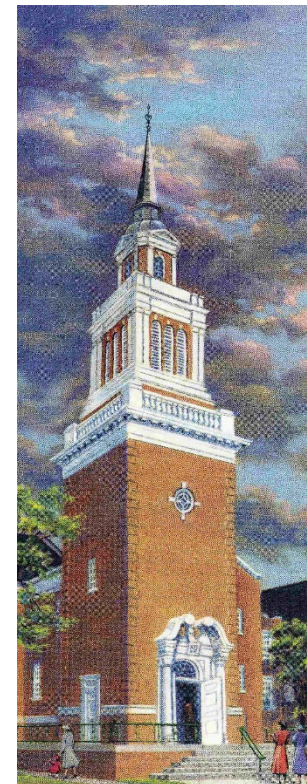
—5月27日には、カレン語部牧師候補者の Eh Plot Soe 牧師が、メンバーの投票により可決されました。おめでとうございます。Eh Plot Soe 牧師は8月から就任される予定です。

—6月17日には、スペイン語部の父の日の食事会でランチをいただいた後、投票により、英語部牧師候補者の Michael Ware 牧師が、メンバーの投票により可決されました。おめでとうございます。Ware 牧師は9月から就任される予定です。

—8月5日の午前11時30分から、教会の前の通りでピクニックが行われます。詳細は追ってご報告します。

今週の聖句：すべて重荷を負うて苦勞している者は、わたしのもとにきなさい。あなた方を休ませてあげよう。（マタイによる福音書11章28節）

発行：2018年6月20日ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話：773-728-4200 内線26



週報

第3677号

2018年 6月24日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: www.northshorebaptist.org